

信濃路をてくてくフットパス

信濃路てくてく(旧まちミュー諏訪)



活動のきっかけは耕作放棄地対策から

・耕作放棄地と鳥獣害に悩んでいた集落で...

・地域資源の発掘で活性化しようと試みました。
(富士見町御射山神戸)

・耕作放棄地対策は進んだけれど...

・掘り起こした地域資源をどう活かすのか？



地域資源マップは作ったけれど



地域資源マップを使って

- 集落内で全員に配布しました。
- 看板も建てました。
- 地元の駅に掲示もしました。

でも、そこでおしまい……

同じような状況は、隣接する地域でもありました。

⇒では、その先は
どうしたらいいんだろう？？？

うまい仕組みはないものか？

- そんなときに、山梨に視察に出かけて……
- フットパスガイドブックに出会いました。
- まずは、自分の集落で作ろうと思い
- 主催者の話を聞くうちに……

すっかりその仕組みに魅せられて

ほかの地域にも話しを持ちかけました。

maiki-miyaguchi-book

甲府市旧百石町編

国天然記念物甲斐犬極話を聞き、
国指定重要文化財穴切神社を見て、
山縣大貳ゆかりの百石町を歩く。



地域資源でガイドブック



それを使ってガイドツアーをネットワーク

外から人が入ってくれば

- そんなに大勢こなくてもいい
- ときどき地域に人が入ってくれば・・・
- それだけでも全然違う。



まずは1冊ガイドブックを作ろう
つきあいのあった神宮寺で1冊！！



そしてもう1冊
話を聞いてくれた
岡谷市で
(近代化遺産)

地域づくりの小さな団体でネットワークを

- 岡谷近代化産業遺産を伝える会
- 神宮寺のガイドブックを作る会
- 入笠山のガイドブックを作る会
- 井戸尻ファン倶楽部

などの協力を得て「まちミュー諏訪」を結成
一つの団体では弱くても
集まれば発信力を持てるかも。

山梨のしくみ

- ツアーをやるためにガイドブックを作る。
- ツアーを行う。
- コンシェルジュとガイドさん



山梨と長野の違い

山梨:連れてってってもらう vs. 長野:自分で行く

山梨

- ガイドブックは書店ではあまり売れない。
- 行政が大量に購入し、住民に配る形で売れる。

長野

- ガイドブックが書店で結構売れる。
- 郷土史への関心＝長野のほうが民度が高い。
- 知的レベルが高い→やり方是一緒ではない。



いろいろと取り組んできて考えたこと

アンチテーゼとして

- これからは海外の観光客だ



- 隣の町に旅に出よう

- チームや仲間で行く



- 一人の情熱ある人と出会う(郷土史家)





- おしゃれなお店でないとはやらない



- 昔風が意外に受ける

- 量や数で勝負



- 種類で勝負

(少量多品種時代は行き詰ったけれど)

ボランティアならまだいける

- テレビでやっていた、雑誌に載った場所
↓
- テレビ・雑誌では絶対に取り上げないほど
マニアックな場所



信州わくわくフットパスガイドブック の強み

- 市販のガイドブックでは成り立たないほど小さな地域を対象にしている。→でも地元では買ってくれる
- 大手では絶対できないこと→小ロットでもペイできる。
(損益分岐点が低い)

信州わくわくフットパスツアー

A: 自前のツアー

B: 山梨本部のツアー

C: 旅行会社のツアー

D: 提携ツアー

目指すものは

県内各地で隣町へと出かけるツアーが盛んになること

自前のツアー：富士見町と協働で御射山神戸



山梨本部のツアー：諏訪大社



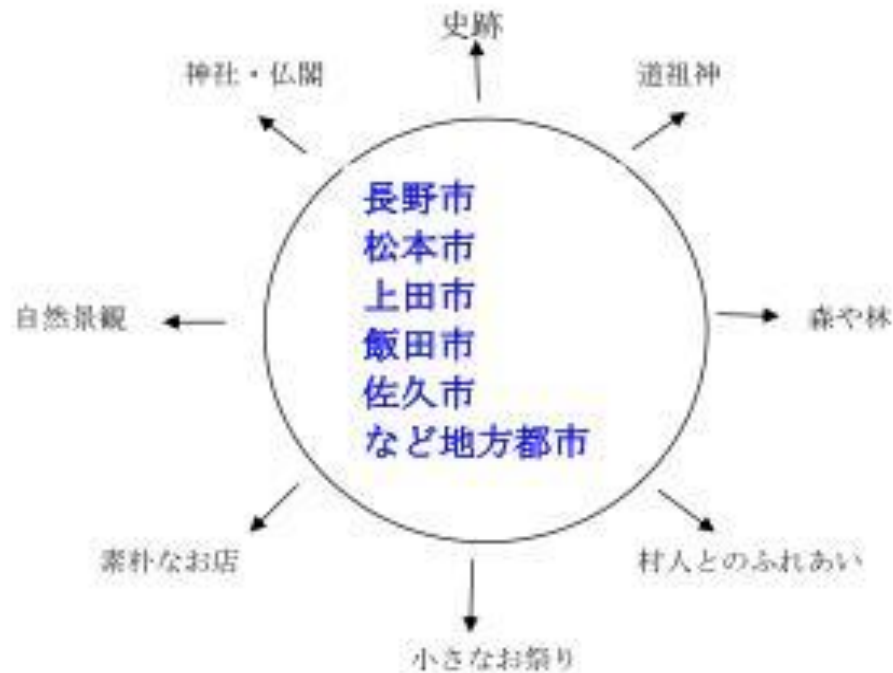
旅行会社のツアー：京王観光による小野宿



提携したツアー：某冠婚葬祭系クラブ



地方都市の住民が周辺部へミニ旅行 こんなモデルが県内に広がれば



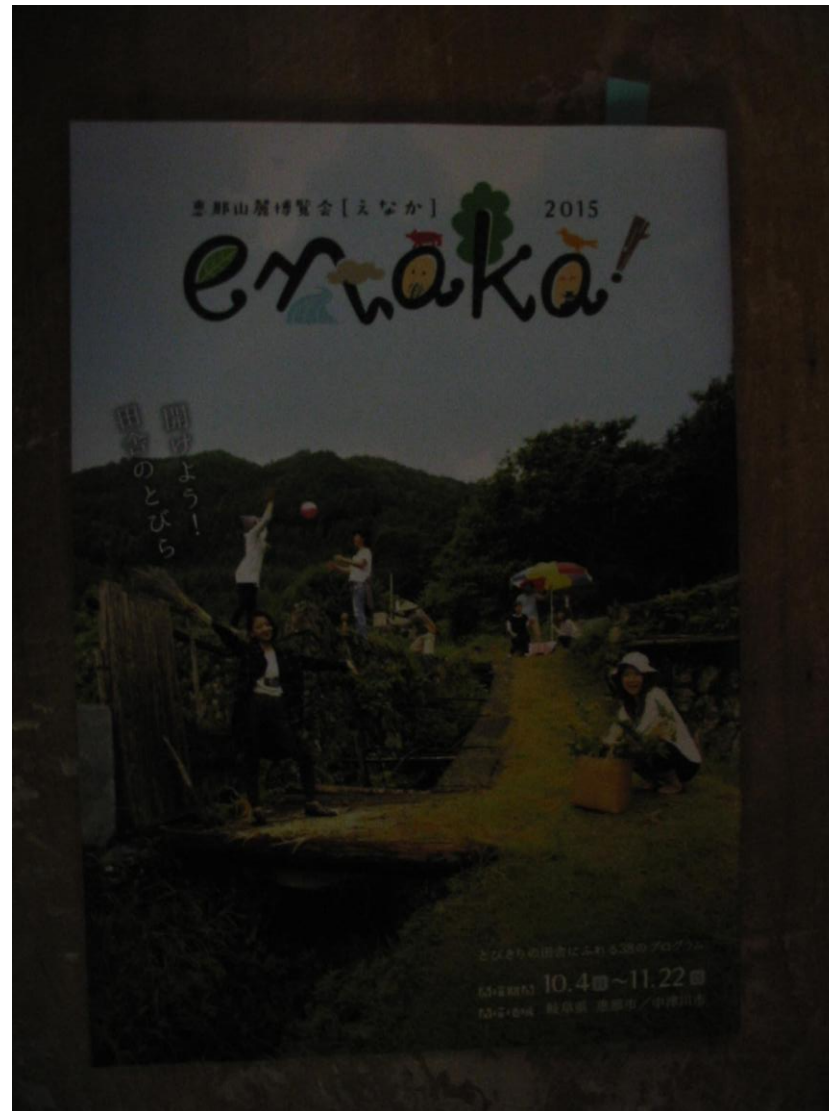
活動の中で見えてきた課題

- 活動の後継者（特に若者）の育成と担い手
作ってほしいと言われる場所はたくさんあるが、取材・執筆は過酷で一種の修行。なかなかやり手が見つからない。
- ツアーの司会進行と 地元ガイドの折り合い
地元の郷土史家ガイドさんが、司会・進行スタッフが仕切ること慣れていないので、軽くトラブルになることがある。
- ツアーよりガイドブック作成に偏る
県内で100種類くらいコースができないと、ツアーの企画を立てるのが難しい。現在は、ちょっとガイドブック作成に偏っている。

これからの取り組み

- 岐阜でガイドブックを作って、名古屋の書店に進出する準備を始めた。
（関東方面には、山梨本部が）
- ガイドブックの内容を充実させていく。
マニアック度を増強して行く
イラストの進化
作ったガイドブックをさらに編集してガイドブックを作る

他の土地のパンフから学ぶ



山辺の山城・文化財マップ



入山辺公民館 里山辺公民館
山辺地区開発促進協議会

① 桐原城（きりはらじょう）

桐原城は西桐原の集落の北側、追倉沢と海岸寺沢にはさまれた山の尾根上にあり、戦史跡に指定されています。この城は桐原大内蔵貞智により寛正元年（1460年）頃に築かれ、



天文19年（1550年）7月15日、武田信玄の軍が小笠原長時のこもる林大城を攻撃した際、大城とともに自落しました。その後、遠山長左衛門が得て領したとの説がありますがはっきりしていません。登山口は追倉集落東側にあり、そこから東に進み尾根伝いに登ると、途中いくつかの段郭を過ぎて、主郭東側石垣下に出ます。健脚な人なら30分ほどで登れます。この城の特徴は、主郭周囲に大規模な石積みを使っていることです。遺構は天正10年から18年ごろに改修されたと考えられます。桐原城の山麓に桐原氏の居館の跡の伝承が残ります。



（桐原城古図）

② 霜降城（しもふりじょう）

海岸寺沢を挟んだ東側の尾根上には霜降城（下砦）があり、上古城（上砦）と連のものとして機能していたようです。登山道は整備されていませんが、古道が比較的登りやすいです。50分ほどで霜降域に着きます。

東信州 中山道を歩く



歩いて、触れて。
Higashi-Shinshu NAKASENDO

- | | |
|------|--------|
| 軽井沢宿 | 八幡宿 |
| 塩掛宿 | 望月宿 |
| 追分宿 | 茂田井間の宿 |
| 小田井宿 | 芦田宿 |
| 岩村田宿 | 長久保宿 |
| 塩名田宿 | 和田宿 |

中山道 26番目の芦田宿は、芦田(依田)氏の浪人岩間忠助と土屋右京野左衛門が、神官今井曾五郎とともに、慶長二年(1597年)に夢科神社に納めた文書(願文)により、新駅の設立を願い出たことが伺えます。

このことから北佐久地域では最古の宿場とも云われています。江戸時代、徳川幕府の植樹政策によ



南信州飯田

遠山郷上村の神と仏



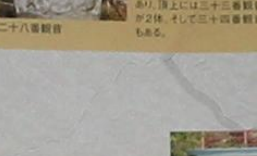
問い合わせ●熊本市上村自治振興センター(上村公民館)

F399-1402 蘇州華聯酒店內上村754路地 Tel:0260-36-2211 Fax:0260-36-2905

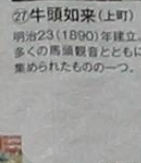
想寫無聲書 視野正八端寫滿 ③

上村上町から小川路跡を越えて飯田市上久保に
抜ける道は、秋葉街道の枝道の一つであり、道山と飯
田を結ぶ重要なルートでした。

上町正八幡宮から峠の頂にかけては、道中の安全
祈願と道標を兼ねて三十三観音が祀られています。
右側に附まれた碑文からは、上村人だけでなく飯田地
区集落からも寄進されたことが分かります。



②7 牛頭如来(上町)
明治23(1890)年建立。
多くの馬頭観音とともに
集められたものの一つ。





さあ、隣の町へ出かけよう。